



西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

令和5年7月20日

NO.5 (73号)

横浜市立義務教育学校
西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(西金沢学園 HP) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

自己決定の夏 2023

前期課程副校長 大竹 豪

「夏休み」は、なぜこんなにもわくわくするのでしょうか。プレゼントをもらったり、金銭的な収入があったり、のんびりとした生活を堪能できるのは冬休みの方なのですが、わくわくするのはどっち、と聞かれたら、やっぱり夏休みの方に軍配が上がります。さらに言うと、何らイベントの予定もなく、そして実際にイベントもなく結局最終日まで絵日記にするようなことがなかったとしても、また次の年の夏休みが近づくとわくわくし、何かを期待させられてしまう、そんな魔力を夏休みはもっています。

かなり主観的なことを述べましたが、学校に通っていたころの夏休みは良くも悪くも一年のメインイベントの一つでした。そんな日本の夏休みは、学制（学校の制度を決めた法令。今から 150 年くらい前に出された）が出されたころは学校によって違っていたようで、だいたい 5 日間くらいだったそうです。衝撃の短さです。明治 14 年（今から 140 年くらい前）に、小学校は夏休みを一か月くらいにするという通知があり、以降縮んだり延びたりしながら今日の夏休みとなっていったようです。

子どもには「計画的に宿題をやろう。」「夏休みにしかできないことをやろう。」「休みが続くが、規則正しい生活をしよう。」などとたくさんのことを伝えていますが、全部を完璧にやることはなかなか難しいとも思います。私がぜひやってほしいことは、その日やることを自分で決めることです。習い事や塾で大忙しの子もいるとは思いますが、その中でも何かは自己決定してやってみてほしいです。本校は 1 年生から 9 年生までいるので、その年齢に合った決め方をする必要がありますが、いつやるかを自分で決めて実行できればいいのです。結果がうまくできても思い通りでなくても、自分でやることを決めた経験が、予測が難しいこれからの世の中を生きる力になると思います。

7 月 21 日から 8 月 27 日までの長い期間、自分でわくわくする夏休みにできるといいと思います。そして、また来年の夏休みを「今度はこれをやろう」と心待ちにできるとうれいす。

<お知らせ>

① 閉庁期間中の連絡について

8 月 10 日（木）～8 月 16 日（水）を、日直を置かない学校閉庁日といたします。学校閉庁期間中の連絡は、**緊急時のみ**南部学校教育事務所（843-6408）にお願いします。

キッズクラブについては、直接お問い合わせください。

② 夏季休業中の学校の工事について

日 程 7 月 29 日（土）、8 月 21 日（月）～23 日（水）

工事内容 耐震水道栓の設置

※工事に伴い、奥座門（後期課程の生徒が使用している門）に工事車両等が通ることがあります。

③ 給食費年間計画 変更のお知らせ

6 月の行事内容の変更に伴い、7 年生・8 年生の給食の回数（6 月分）を、次のように変更しました。

7 月に引き落とされる 6 月分の給食費の金額が変更になりますので、ご承知おきください。

【7 年】18 回 → 19 回（6,270 円） 【8 年】18 回 → 17 回（5,610 円）